

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【公表番号】特表2012-506430(P2012-506430A)

【公表日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-011

【出願番号】特願2011-533174(P2011-533174)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

C 1 2 N 5/0775 (2010.01)

【F I】

A 6 1 K 35/12

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 A

A 6 1 L 27/00 Y

A 6 1 P 43/00 1 0 7

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/48 N

C 1 2 N 5/00 2 0 2 H

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月16日(2012.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

脂肪由来細胞を移植するために使用される組成物であって、脂肪由来細胞とトリブロックコポリマーを含み、ここで該コポリマーは2つの親水性尾部が側面に配置された中心疎水性コアを含み、また該コポリマーは該細胞を損傷から保護し、細胞死を防止する、前記組成物。

【請求項2】

脂肪細胞を移植するために使用される組成物であって、脂肪細胞とポロキサマー P 1 8 を含む、前記組成物。

【請求項3】

脂肪移植片の再吸収を防止するために使用される組成物であって、脂肪由来細胞とトリブロックコポリマーを含み、ここで該コポリマーは、2つの親水性尾部が側面に配置された中心疎水性コアを含む、前記組成物。

【請求項4】

脂肪由来細胞の細胞膜を封止するための方法であって、脂肪由来細胞を、細胞膜を封止するのに十分な量のトリブロックコポリマーとin vitroで接触させることを含み、ここで該コポリマーは、2つの親水性尾部が側面に配置された中心疎水性コアを含む、前記方法。

【請求項5】

脂肪組織を移植するために使用される組成物であって、脂肪組織とトリブロックコポリマーを含み、ここで該コポリマーは2つの親水性尾部が側面に配置された中心疎水性コアを含み、また該コポリマーは該脂肪組織の細胞を損傷から保護し、細胞死を防止する、前記組成物。

【請求項6】

脂肪由来細胞とポロキサマー P 1 8 8 を含む組成物。

【請求項7】

ポロキサマー P 1 8 8 と脂肪細胞を含む組成物。

【請求項8】

ポロキサマー P 1 8 8 と脂肪組織を含む組成物。